

# 授業のポイント

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが大切です。

次の4つのポイントを意識して、「考え、議論する道徳」の授業を構想しました。

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| ○ 問題意識を持たせる     | ○ 自分との関わりで考えさせる      |
| ○ 多面的・多角的に考えさせる | ○ 人間としての生き方について考えさせる |

## 中学校1年生 C-(13) 勤労「新しいプライド」のポイント

<ねらい> 勤労の尊さや意義についての理解を深め、社会における自らの役割や将来の生き方について考えようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

導入

道徳的価値の理解を基に・・・

①<問題意識を持たせる> ②<自分との関わりで考えさせる>

- ・職場体験学習など、実際の体験学習をイメージさせ、働くことについての問題意識を持たせる。
- ・将来の仕事について考えさせ、働くことについて自分との関わりで考えさせる。  
(発問) ○将来の仕事を考える時、何を大切にしたいですか。

③<多面的・多角的に考えさせる>

- ・否定的な立場から考えさせること、仕事のやりがいについて深く考えさせることで、様々な視点から働くことの意義や尊さに気付かせる。  
(中心的な発問) ◎主人公が車両清掃の仕事に誇りを持てるようになったのはなぜだろう。
- (補助発問) ●パートから正社員になろうと思ったのはなぜでしょう。  
●正社員にならなくても同じ仕事はできたのではないですか。

④<自分との関わりで考えさせる>

- ・働くことについて、気付いたことや感じたことを、授業の最初に考えていたことと比較させ、自分との関わりで考えさせる。  
(発問) ○働くことについて、この話を通してどのようなことを考えましたか。  
(補助発問) ●今、みんなが考えていたことを授業の最初に考えていたことと比べてみるとどうですか。

⑤<人間としての生き方について考えさせる>

⑥<自分との関わりで考えさせる>

- ・導入場面と同じ発問をし、考え方の変化を振り返らせる。
- ・自分の将来のことをイメージしながら、働くことについて気付いたことや考えたことをまとめさせる。  
(発問) ○将来の仕事を考える時、何を大切にしたいですか。  
○「働くこと」について考えたことを、自分の将来のことをイメージしながらまとめましょう。

展開

終末